

学校便り

学校評価結果について

広陽小学校

令和6年10月吉日

秋涼の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、子どもたち一人一人が成長し、よりよい学校とするために、児童アンケート・保護者アンケート・教員アンケートを基に学校評価を行っています。前期の結果と改善策、保護者の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。

○アンケート結果より



	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果 前期	分析と改善策
学校経営	・子どもたちは学校で楽しく過ごしている。	・安心して学ぶことができる居場所づくりをしている。 ・安心して学んでいる。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート 肯定的評価(A+B)評価が、 A: 90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満	100% A 91.4% A 95.4% A	肯定評価のうち「楽しい」と答えた児童が65%で、学校で安心して学ぶことができている子が多い。また、保護者の肯定評価も高く、児童の様子や話から肯定的に捉える保護者が多いと考える。さらに、児童に「嬉しい時・楽しい時はどんなときですか」と問い合わせし、「難しくて解けなかった問題にあきらめずに取り組んで解けたこと」「転んだ時に助けてもらってすごくうれしかった」「学年関係なくあそでいたこと」「図工の作品で困っていた時に友達が手伝ってくれたこと」など、安心して過ごすことができる「温かい人間関係」や「わかった」「できた」と実感し、自己評価が高くなることで「学校は楽しい」と実感できていると考えます。 しかし、「どちらかというと楽しくない」「楽しくない」と答えた児童も7%いる状況です。 前期に引き続き、児童が安心して過ごせる居場所となる学級づくりをすることと、授業で、ねらいを明確にし、児童が自信を持って学習を進めていくよう授業を行います。また、粘り強く最後まで取り組むよう支援し、的確な助言を行ったりしてきたことを具体的に褒めたりして、達成感や自己肯定感を実感できるようにしていきます。
学習(進んで伝え合う子)	・ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	・ねらいに合わせた児童の具体的な姿を設定している。 ・児童が学びや変容を自覚できるように、まとめや振り返りを書く場を設定したり、活用問題の場を設定したりしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	100% A 93.7% A 90.6% A	各教科の単元でつけたい力を確実につくよう、繰り返し取り組んだり、活用問題に取り組んだりすることでさらに「わかった」、「できた」という達成感を感じられるようにしていくことが大切だと考えます。 その授業でつけたい力を明確にし、児童自身が「わかった」、「できた」という達成感を感じられるような授業づくりを進めています。授業の終末でその時間に学んだことを自分の言葉でまとめたり、繰り返し適用問題に取り組んだりする時間を確実にとり児童自身が自己的変容を感じられるようにしていきます。
	・家庭学習の具体的な学習方法等を具体例を挙げながら教えている。	・家で計画を立てて勉強をしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	90.3% A 86.3% B 88.1% B	学年×10分の学習内容に毎日継続して取り組めるよう、どのクラスでも粘り強く指導していきます。また、児童の実態から同じ量を取り組むことができない場合には、本人や保護者と相談しながら決めた量を取り組めるよう個別指導を行います。また、「おうちでバッチャリ週間」を強化週間として、どの子も達成できるよう、声かけ・指導を行います。
生徒指導へ思いやりを形で表す子	・自分から目を見て笑顔で明るい声で友だちや先生や地域の方、来校者に挨拶をする。	・先生や地域の方、来校者にあいさつをしている。 ・自分から明るくあいさつしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	75.8% C 89.6% B 96.5% B	2学期初めの生活目標を「自分から伝えるあいさつをしよう」と設定し、全校で気持ちのよい挨拶ができるように始業式で全体指導を行いました。また、教職員においても率先垂範の意識を持ち、まずは先生から挨拶を心掛けていきます。さらに、石川県内の取り組みであるグッドマナーキャンペーンと関連して、運営・生活委員会などの児童会活動と連携して、日頃から挨拶が活発に行われる機会の充実を図っています。
	・子どもたちは、いじめられたり無視されることなく、安心し過ごしている。	・子どもとの関係づくりに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	97.0% A 89.5% B 95.0% A	夏季休業中に「いじめ」「不登校」の予防・早期対応のための校内研修を、いじめ対応アドバイザーやスクールカウンセラーと連携して実施しました。 今後も学校や学年、チームで連携や協力し合う体制の強化・実践を図りながら、安全・安心な学校づくりを図っていきます。
特別支援教育	・目標に向かって頑張って運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	100% A 94.1% A	数値自体は良いが、さらにA評価の数値を高めるために体育の授業づくりの向上を学校全体で図っています。そのために、校内研修などで、体育の授業づくりの研修を行い、少しでも体育の知識を身につけ、子ども達と楽しく力をつける授業を行っていきます。
地域・保護者	・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより(学校便り・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り)を月1回出している。 ・学年便りに写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	教職員アンケート 児童アンケート	92.6% A 91.5% A	学校HPの更新が定期的に行われていること、テトル配信により、保護者へ直に伝わったことが挙げられます。 写真の掲載は個人が特定されないことと、個人情報公開の許可有無についての事前調査を確認するよう徹底していきます。

○保護者(自由記述)より

- 学年だより、学校だよりなど、totoruでカラーで伝わりやすいです

→ 昨年度1学期以降はtotoruというアプリで、学年だより等のおたよりもPDFで配信しています。いつでも予定等が確認できます。今後もカラーで子ども達の様子をお届けしていきます。お便り以外のお知らせも配信していきますので、ご確認お願いいたします。